

多職種でかかわる 摂食・嚥下ケア

誤嚥性肺炎で入退院を繰り返す高齢者「誤嚥性肺炎リターンズ」が増えています。私たちは今後どのように連携・ケアしていけばよいのでしょうか？今回は、熊本県より前田圭介先生をお招きしました。先生は誤嚥性肺炎の患者を「とりあえず禁食」にする現場に疑問を感じ、研究では、禁食を強いることで機能低下するケースや、早期の経口摂取開始の重要性を広く海外にも発表されています。高齢者の摂食嚥下ケアの第一線で活躍しておられる前田先生を囲み、共に学びましょう！

【講演】

第1部

14:10~
15:40

『高齢者の摂食嚥下障害と誤嚥性肺炎 ～包括的支援は看護介護介入で決まる～』

【三二対談】

第2部

15:50~
16:10

今後の私たちに 必要なこと

【講師】

前田 圭介 先生

玉名地域医療センター
摂食嚥下栄養療法科
NSTチェアマン・内科医長/
NPO法人食事ケアサポーターズ理事長
たまな在宅ネットワーク事務局長



コーディネーター：

宇治久世医師会 副会長 門阪 庄三 先生

ゲスト：宇治徳洲会病院 岡田 裕子さん
京都岡本記念病院 湯本 恭子さん

9月11日(日)には「ふかまるつながる事例検討会」で摂食嚥下ケア第2弾として当圏域の摂食嚥下認定看護師による、事例検討・実践編を予定しています！あわせてご参加ください。

1974年生まれ、鹿児島県出身。
父親が重度の摂食嚥下障害になったことをきっかけに「口から食べる喜びを支えたい！」と、現在は医療と介護、医科と歯科の協働をテーマに活動中。
研究分野はサルコペニア、摂食嚥下障害、口腔ケア、誤嚥性肺炎、認知症と摂食嚥下障害など。

日時

2016年

9月3日(土)

14:00~16:30

会場

宇治徳洲会病院
10階会議室

参加費無料・事前申込不要

対象

医療・介護・福祉にかかわる多職種

※多数のご参加お待ちしております。
お車で越しの方は、駐車券を
当日受付にてお渡しく下さい。

主催：宇治久世医師会

お問い合わせ：宇治久世医師会医療介護連携推進事務局 ☎ 0774 - 24 - 1711